

奉祝 天皇陛下御即位三十年



いなほ

稻積神社社報
第50号

平成31年 新年号



迎春



作 大澤恒夫

える焼物です。
約千年の間、その時代にあった生活の陶器として今まで続いて参りました。その備前焼に携わってきた人々が作った古備前焼は、現代人にも強い感動を与えております。

根津宮司神職身分特級昇級に当たり藤沢鉄工株式会社会長藤澤平司様より奉納された備前焼の壺。

日本人は、古代縄文時代から生活に焼物を取り入れてきた民族です。備前焼は、中国、朝鮮半島より、日本に伝来した須恵器の技術をそのまま現代に伝

外郭団体	宮 権 櫛 宜 司
甲府伊勢講講元	宮 権 櫛 宜 司
崇敬青年会会长	宮 権 櫛 宜 司
稲積睦会会長	宮 権 櫛 宜 司
崇敬婦人会会长	宮 権 櫛 宜 司
崇敬会友の会会長	宮 権 櫛 宜 司
崇敬会代表世話人	宮 権 櫛 宜 司
正の木祭実行委員長	宮 権 櫛 宜 司
責任役員	フクダタケシ
総代顧問	フクダタケシ
総代	フクダタケシ
藤澤内宮	フクダタケシ
宮崎丹志	フクダタケシ
伊河保神	フクダタケシ
渡篠	フクダタケシ
根原	フクダタケシ
根津	フクダタケシ
津	フクダタケシ
津	フクダタケシ
肥津	フクダタケシ
津	フクダタケシ
原	フクダタケシ
戸	フクダタケシ
辺	フクダタケシ
野	フクダタケシ
藤野	フクダタケシ
田	フクダタケシ
川	フクダタケシ
島	フクダタケシ
澤	フクダタケシ
藤尾	フクダタケシ
取村	フクダタケシ
藤野	フクダタケシ
田	フクダタケシ
戸	フクダタケシ
辺	フクダタケシ
原	フクダタケシ
肥	フクダタケシ
津	フクダタケシ
津	フクダタケシ
浩	フクダタケシ
武清	フクダタケシ
博	フクダタケシ
武臣	フクダタケシ
茂	フクダタケシ
武昭	フクダタケシ
実	フクダタケシ
之	フクダタケシ
山俊夫	フクダタケシ
僚正	フクダタケシ
正宮司	フクダタケシ
明昇	フクダタケシ

謹賀新年



平成三十一年 新年を迎える

稻積神社崇敬会友の会 会長

大森 丘

新年明けましておめでとうございます。崇敬会の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、良いお年をお迎えの事と、お喜び申し上げます。

我が家では例年の事になりますが元旦には二人の娘一家が揃い孫五人を含め三家族十

一人で稻積神社に初詣、新年祈願からスタートになります。

今年は大学受験と高校受験の孫があり祖父としても少し緊張しております。

昨年は一昨年に続き一月から二月にかけ西日本では三十二年ぶりの寒さと豪雪から始まり四月には島根県西部地震、六月には大阪北部地震及び七月の平成最悪といわれた西日本の豪雨水害、また、記憶に新しい八月は歴代最高気温を更新する猛暑があり、猛暑が一段落と思いきや平成最強レベルの連続での台風、また普段ではありませんが起らぬと言われる北海道で震度六強の地震です。平成最後の年なのになぜと言う一年でした。

幸い山梨にはそれ程の被害はありませんでしたが、夏の猛暑はあまり経験のない永い期間の暑さに苦しみました。

収穫間じかの農作物などの被害も報じられております。被害に遭われた方々へお見舞い申し上げるとともに早期の復興をお祈り申し上げます。でも日本（人）ははじめて復旧して行くところが神様の教えかなと思います。

稻積神社崇敬会の再興と共に立ち上げた我が崇敬会友の会も今年で十五年を迎える事となり、例大祭を含め神社の諸行事にあわせ奉賛並びに参拝旅行等、都度参加させて戴き親交を深めております。

そして新年を迎えるとまもなく例大祭、正の木まつりの話題になり準備が始まります。あつという間の一年ですが、今年は天皇陛下のご譲位と新

になります。自分ではまだまだ出来るぞと云う気持ちで居りますが遠くも近くも見難くなり老眼と乱視に悩まされる毎日を送っています。しかし体力的には週一度ですが地域の皆様と卓球の練習を頑張っており、地区代表として市民体育大会にも参加させていただいております。又、月一・

今後ともよろしくお願ひ致します。

二度くらいですがゴルフも楽しんでおります。もうこの歳になつては猪突猛進と言う訳にはまいりませんが、私なりに会を盛り上げ神社の繁栄に貢献できたらと考えて折ります。

ただいお祈り申し上げます。

甲府伊勢講千社詣りの旅

甲府伊勢講 講元

小野 忠

甲府伊勢講の旅行は今回で五十三回目となりました。この実績は今回の旅行に参加下さった方々はじめ先輩、先人達の神社への崇敬の念からです。今回の旅は、十月二十一日（日）～十月二十二日（月）の日程で、小国神社参拝と八丁味噌えびせんべいの工場見学と豊川稻荷参拝と焼津の海産物を味わうの一泊二日の旅です。

十月二十一日午前六時十分湯田集会場バス二台で一路遠

江国一宮、小国神社へ向け出発しました。途中数回の休憩をはさみ、小国神社に到着しました。神社の御祭神は大己貴命「大国主命」と呼ばれ豈原の瑞稻の國を造り治められた天孫に國を譲した心やさしい神様として親しまれりとの事。創始は人皇二十九代欽明天皇の御代士公（五五五）

平成十七年に御鎮座一四五年祭が斎行され遠江国一宮さまとして崇敬され親しまれてる神社であります。神社を

翌日はえびせんべい本店に寄り買い物、工場見学をすませ、豊川吒枳眞天を祀つてあるお寺です。月例祭が毎月二十二日骨董市や古道具など見学、次の昼食会場の焼津おさかなセンターにて食事と最後の買い物ショッピング等を済ませ、高速道路から中部縦貫道をひたすら走り夕方無事自宅へ到着しました。



さてここで第五十四回の伊勢講のご案内の所ですが、伊勢講世講人が新しく三人が入りました。山田一郎氏、西野直樹氏、五味隆彥氏です。先達以下十三名と業者とでより

勢講世講人が新しく三人が入りました。山田一郎氏、西野直樹氏、五味隆彥氏です。先達以下十三名と業者とでよりよい旅行を提供していきます。第五十四回の旅は「加賀国白山比咩神社尾山神社参拝」と十二日に開催の県神社関係者大会出席のため帰郷、一行は一路次の目的地のまるや八丁味噌工場見学を行い東名高速

南知多道を南下し南知多町

亥年生 所感



月始祭参列者

秩父善治

の横行。まじめな人が好きですか。近年稻積さんには、一日参りにも予定がつく限り押ししております。あの静なおよ七十二歳を迎えました。

昭和二十二年一月生まれの幼少期病弱であった私がこの歳まで長生き出来たことは今思つて考えられませんでした。

幼稚園時代母に手を引かれ、病院通い、そのお陰か年を重ねる毎に回復し、その後大きな病にとりつかれることなく、今日に到っております。小学校高学年の頃、図工の時間があり、庭を含めた小住宅の模型を作ることになりました。

間取りは良く覚えていませんが、厚紙で形を作り黒いセルロイドの下敷を小さく切つて瓦を作り、窓を設けて、庭木を植えて、絵の具で着色し当時あこがれであった、テレビアンテナをことのほか大きく屋根に立て完成しました。その頃の図工の先生は髪の長い絵画教室をもつていた男の先生で、とても褒めて頂き、優秀賞をもらいました。私が建築に興味を持ったのはその頃からだったのかも知れません。当初は建設会社に勤務し、大

きな建設現場に配属され、その後も大から今までの現場を経験しました。しかし設計という分野とは違い、設計者の図面化した物を忠実に形にしていくというのが、広い建築の分野の第一歩でした。その後公務員となり、やはり大小の現場を経験ましたが、建築のなかの設計というものから頭が離れず、建築設計事務所に移席、何年か後に一級建築士の資格を取得、独立した次第であります。

独立して思うことは、設計とは無の状態から、発注者の意図を形にして行く作業であります。限られた予算、限られた敷地、頭を悩ませながらの繰り返しであります。

最近思うことは、十年前に起きた構造計算擬装事件、又最近の免震装置のデーター改竄等、人の安全を守る為の建築物に対する安易な許される行為であります。個人の判断なのか企業ぐるみの指導なのか、はて又詐欺グループあります。



崇敬会常若会 副会長

山田政仁

なつた時間をどう過ごして行けば良いのか「あせる必要はないまだまだ頑張れるのだ」と思いつつ、皆様のご健勝を祈念しつつ筆を置きます。

なつた時間はどう過ごして行けば良いのか「あせる必要はないまだまだ頑張れるのだ」と思ふことがあります。それは、十二支が動物と関連付されるようになつたのでしょうか？これは、十二支の考え方を一般庶民に浸透させていくうえで身近な動物の名前を割り当てた方が覚えやすかつたからです。そのため本来は、植物の状態を表す十二支にそれぞれ庶民に身近な動物が割り振られるようになりました。亥は（がい・とざすの意味）で

今年の干支は亥です。私の干支があります。干支は、年賀状のイラストに使われたり、人の性格や特徴として判断されることもあります。干支はどういうふうに記憶していますか？掛け算のように当然記憶していく「ねーうしとらうーたらみー」と念佛を唱えるかのようにでできませんか。この干

支ですが、なぜ、このような動物たちが順番にでてくるのでしょうか？犬や鳥は出でてくるのに、なぜ猫はでこないのだろうとか。文化や伝統はそれぞれ様々な由来があり、しか定かではないものも多々あります。

亥年ですから、猪突猛進とならぬよう皆様とも協力して稲積精神社そして常若会が発展していくけるよう微力ではあります、お手伝いさせて頂く

もともと、十二支は木星の位置を表すために利用されており、それぞれの漢字の意味

崇敬青年会報告

全国氏子青年協議会 第五十六回定期大会 愛知大会

去る平成三十一年七月七日「全国氏子青年協議会 第五十六回定期大会 愛知大会」が、杜を思う心、大和の心、優しい心、氏青よ、未来に向けて集い語ろう~をテーマに、全国各地から四百名を超える氏青が集い、若宮八幡社、名古屋観光ホテルにて開催され、稲積神社崇敬青年会メンバー八人で参加させて頂きました。また、今年は「天皇陛下御即位三十年奉祝並び創立五十五周年記念」を頂きました。

午前中の若宮八幡社での正式参拝では、風鈴に思いを込め、鈴の音が心地良い中、参列させて頂きました。例祭は稲積神社と同じ五月のようで名古屋の三大祭「若宮祭」といわれ、境内に鎮座する神輿と山車は素晴らしいものでした。参拝の後、「名古屋名物ひつまぶし」を頂き至福の時を過ごしました。

大会は、名古屋観光ホテルにて田代実行委員長の開会の辞・神宮遙拝・国歌斉唱・教育勅語・氏青綱領・氏青



全国氏子青年協議会連絡協議会研修会山梨大会を開催して

山梨県氏子青年協議会 会長

長 湧 英 規

去る十月六日山梨県甲府市にて「全国氏子青年協議会 関東地区連絡協議会研修会 山梨県大会」が開催されました。各県の役員始め関係者一百七名にのぼる数多くの方々にご参加を頂きました。

午後一時三十分より甲府市の稲積神社にて正式参拝があり、玉串奉籠を全国氏子青年協議会理事内田貴志氏、

物故者に黙祷・田中会長以下來賓挨拶・表彰式・総会報告・次期大会開催地挨拶・美わしき山河合唱等々進められ聖寿万歳にて閉会しました。

大会終了後には記念公演が行われ、愛知県出身講談師・旭堂鱗林氏による創作講談「藤

主管の皆様のご尽力、沢山のおもてなしに心から感謝申し上げます。

井聰太物語」を披露し、愛知県瀬戸市生まれの最年少プロ棋士である藤井聰太七段の幼少からの成長を軽快に語り、会場内の笑いを誘っていました。

懇親会も同会場にて開催され、全国の交流の輪を深めました。また、七月豪雨の募金活動も実施されました。

大会参加にあたり、主催・教育勅語の奉読は、山梨県氏子青年協議会副会長酒井宏知氏、氏青綱領の唱和先導を埼玉県氏子青年協議会会長細沼武彦氏が務め、関東地区連絡協議会食石原浩氏挨拶では、その職を山梨県に引き継ぎ、新会長担当県である山梨県より挨拶をいたしました。

また、山梨県神社庁長根津泰昇様、全国氏子青年協議会会长田中茂廣様ご名代理事内田貴志様代読により大変鄭重なるご祝辞を賜りました。その後、聖寿万歳を東京都氏子青年協議会会長井川邦夫氏、閉会の辞を橋本県神社氏子青年連合会会長大塚銳克氏が執り行い閉会いたしました。

その後山梨県神社庁長が執り行い、無事に閉会となりましたことをご報告いたします。



喜び事が多い年であるが、経済的の損失をみたり、諸事の毀損的な面でしやすく自身の行動を、しっかりと管理する必要があります。怠ると取支のバランスが悪くなるので注意。
○昭和二十九年生 六十五歳
自己管理が出来たならば、経済面も良好になると、対人関係も良く、悦び事も多く、自身も精神温順になり、名譽、信用を受ける年。
○昭和三十八年生 五十六歳
経済面は良いが、蓄財出来難い象徴が強い。収入はあつても出費が嵩む事が起る。子供の結婚の反面、出費が嵩む事柄も多い。対人関係も表裏が表

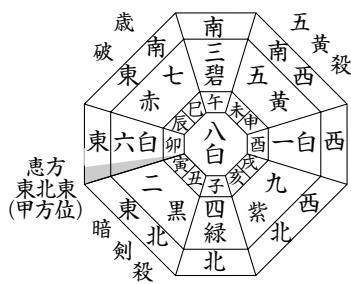
「云々は病み猪といふ」とも云つて、諸事に心配したりと取越苦勞をする。人に心配を信じ過ぎて欺かれる事があるので、和の心と人の心を尊重する精神で接するならば前途が開けます。八白土星年は事変が行き詰まる象が見られ、進路変更を選択せざるをえない事態が予測されるが、必ずしも無理せず、慎重さが必要です。故に本年は日常生活を一歩一歩に歩み前のこと柄を速やかに慎重に処理する事が大切。



宮司根津泰昇

平成三十一年
己亥・八月壬星
運勢

ラッキー色 白色



平成三十一年方位吉凶圖

○○凶方 吉方
北・南
北東・東・東南・西南・西
建築・移転・開所・購入 吉
☆二黑土星（衰退期の注意運）
本年は暗剣殺の凶作用を受けます。星除祈願をお受けください。

○構えが必要。 われるので、和して同ぜずの心
○昭和四十七年生 四十七歳
○自己管理が出来るなら、信用度も増し、対人関係も円滑になり、経済的にも恵まれる年。気持ちの緩みに注意が必要。
○天恵が薄い年なので、諸事が順調に進んでいるように見えて来る年も、終わりは災難に見舞われる年なので、平静不動の精神で生活すること。
○平成二年生 二十九歳

○昭和三十七年生 五十七歳
諸事に注意深く接するならば、精神的にも落ちつき、富貴繁榮の精神的、又一面には、不和事を起こし、訴訟や裁判事を引き起こす相もあるので積極的な行動は慎むこと。
○昭和四十六年生 四十八歳
諸事がスマートには進まない
での、焦らず一步一歩前進する
構えが大切です。年始めは順

さい。
衰退期に入つてきましたので、
諸事がスムーズに進まなくなり
ます。迷い事も多く、解決策に
も悩みが生じますので、積極策
より消極策に、前進策より退守
策を選ぶが無難です。

○昭和四十五年生 四十九歳
諸事を早々に処理し、自ずの生活のみでなく、社会奉仕の為に活動を當む事により、諸事が向上します。神仏に手を合わせる姿勢が大事です。

○昭和五十四年生 四十歳
男性は厄年の前厄です。厄除祈願をお受け下さい。自身心を表面に出さぬ様に心掛ける事です。

○昭和六十三年生 三十一歳
女性は大厄の前厄です。厄除祈願をお受け下さい。自身をつかりと見つめて、管理すること。高慢な姿勢を表面化すると、

☆三碧木星（衰弱期の順調運）
物事が対人関係に離合集散と
眞の姿が表面に出る運がある。
又表面は華やかに見えるが、内
面は空虚となる特徴があるので、内
その原因を追求し、早々に解決
することが肝心です。
○昭和三十七年生 六十七歳
下積みや風塵に耐えて、努力
を積み重ねてきた方は、権威、
名譽・信用を得て、富貴繁榮の
運があります。
○昭和三十六年生 五十八歳
将来の運を決定する時期なので
で、思う様に進まない事柄が生
じたならば、早々に解決策を探
し求め手をうつこと。生活は平

調に感じても注意が必要。平靜
不動の精神で。昭和五十五年生 三十九歳
積極策よりも消極策を選ぶよう
に、一歩下り歩んでゆけば諸事
が向上を見る年です。神社参拝
する事で、発展のある年です。
○昭和六十四年・平成元年生 三十歳
物事が順調で進むから、から
自分本位の考え方で進むと分離を
生じます。友人も失う事になる
ので、自己主張は控え目に。
○吉方 東・西北

○昭和五十三年生 四十一歳
男性は大厄です。厄除祈願をお受け下さい。諸事が思うよう進まず、焦りを感じるでしょう。強引な行動を起こすと、自身にとつて大事な物を失うことになります。自分自身をしっかりと見つめ、穏やかな生活を心掛けられること。

○昭和二十六年生 六十八歳
本年は体調に充分分配慮して生活する事が肝要。諸事に積極的に行動すると、良好に感ずるけど、最終的には災いとなりますので注意。
○昭和三十五年生 五十九歳
男性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。還暦の厄年ですので、歩んできた道程を観察し、新たな今後の青写真を計画する時期です。神社参りに出かけると良運に恵まれます。

○凶方 西・西北
○吉意する事。
全てを失うことになるので充分
◎諸事 前半は改築・開所・購入
北・東・東南・南・西
★四緑木星 (衰退期の衰退運)
運氣が低迷期にあります。星
除祈願をお受け下さい。本年は
諸事が順調には進まない時期で
冬眠の時です。焦らず、の
んびりと歩む事が大事な年です。
強引に進むと、後に大変な事態

○平成八年生 二十三歳
男性は前厄です。厄除祈願を受け下さい。精神的に変化が起こり易い年です。自分自身のことを率先して行動を取ると、不名誉な事を受けるので言動に注意。
○昭和六十年生 三十三歳
女性は大厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。自我心を表面化しますので言動に注意が必要。又家中に病災や悲しみ事も無いでしよう。

○昭和四十年生 五十一歳
男性能は大厄の後厄です。厄除祈願をお受け下さい。前半は衰退期の尾を引いていますので、言動には注意。後半が過ごす事が出来たなら、来年に向かつて積極策も良いでしよう。

○昭和三十四年生 六十歳
男性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。還暦を迎える精神的不安感が生じてきますが、正面から自己心を表面に出すと、諸事が順調に進まず、築きあげた物事を失うことになりますので、穏やかな生活をして下さい。

○昭和二十四年生 六十九歳
老後の土台作りには最適年です。歩んでこられた過去を検証し、今後の人生に生かせる道を探し求め下さい。将来を左になります。歩んで下さい。

○昭和二十年生 六十九歳
土台作りに成果が表れる時期ですので、一步一歩歩んで下さい。

☆五黄土星 (盛運期の順調運)
衰退期を抜け、精神的に温順になります。諸事に対しては即刻結果が表わされるのは無く、常に努力する事により将来の土台作りに成果が表れる時期ですので、歩んで下さい。

○昭和二十年生 六十九歳
老後の土台作りには最適年です。歩んでこられた過去を検証し、今後の人生に生かせる道を探し求め下さい。将来を左になります。歩んで下さい。

○昭和三十四年生 六十歳
男性は本厄です。厄除祈願をお受け下さい。還暦を迎える精神的不安感が生じてきますが、正面から自己心を表面に出すと、諸事が順調に進まず、築きあげた物事を失うことになりますので、穏やかな生活をして下さい。

○昭和四十年生 五十一歳
昭和四十年は抜けましたが、まだ衰退期の尾を引いていますので、前半は衰退期の尾を引いていますので、言動には注意。後半が過ごす事が出来たなら、来年に向かつて積極策も良いでしよう。

○平成七年生 二十四歳
男性能は本厄です。厄除祈願をお受け下さいます。異性にしても恵まれ易い年ですが、経済的にも恵まれ易い年です。が、戒や慎重さを怠れば破滅の原因となりますので注意。

○○凶方 東・西・南・南西

○○凶事 後半は吉 東・東南・南・南西

☆六白金星(盛運期の順調運)
永年の努力があれば世間にも認められ、向上発展のある年。又悪しき事を表面化するとの道をたどります。故に歩んでこられた事柄を保守し、将来の基礎作りに励むことが肝要。

○昭和二十四年生 七十歳
諸事は順調に推移しますが、慎重さを怠ると運動不足の原因となりますので、言動に注意し慎重になります。

○昭和三十三年生 六十一歳
男性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。金を強く出すると財物や経済面を失うことがありますので、言動を控え目に。努めに一歩一歩進む事が大切。

○昭和四十年生 五十二歳
今までの努力が認められ、衣食住に恵まれる年です。喜びや衣食住による年であります。しかし新規に事を始めるには運気が足らず、神社参拝をし、ご神縁をお授り下さい。

○昭和六十一年生 三十四歳
悪しき事が表面化する運気でありますので、物事ひとつにつきに注意することが大切。怪我や病難にも注意。

○昭和六年生 二十五歳
男性は後厄です。厄除祈願をお受け下さい。全てに順調な年です。重事を全く失うことがなりますので、物事ひとつにつきに注意が必要。慎重に物事に接するならば順調な年。

○平成六年生 二十九歳

最適な年です。努力を重ね生活して下さい。
◎○凶方歳破の凶作用を受けるので星除祈願をお受け下さい。全てが順調に運び繁榮发展する年です。歳破の凶作用を受けるの先方から的好い話で、事が進むので慎重に吟味する必要があります。歳は充分な熟慮が必要です。自身は充分な熟慮が必要です。
○昭和三十二年 六十二歳
今年は生活に恵まれ、全てが順調に進むでしょう。家庭内にも喜び事があり、充実した年となりますが、しかしながら生活は慎重に歩むこと。
○昭和四十一年生 五十三歳
自我心を表面に出さず生活することを中心掛けること。歳破の作用を受けるので、回りの動きに注意するように。
○昭和五十一年生 四十四歳
物事が順調に進み、充実した日々を過ごすでしょう。調子に乗りすぎると落とし穴があるので、自分自身の管理を常に怠らないこと。
○昭和五十九年生 三十五歳
女性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。全てが順調に進み良い一歩ひいた生活を。良縁のも恵まれます。
○平成五年生 二十六歳
強情を通すと物事が順調に進まず非難。反対が生じ不和事柄を招きます。若さを強調し、素直に生活して吉。
○平成十四年生 十七歳
女性は前厄です。厄除祈願をお受け下さい。初厄となりますが、あまり気にせず普通に生活することにより元の引き立てや信用を得て楽しく生活出来ます。但し自惚れ過ぎに注意。

○◎吉方凶事
星が中宮に入り、変化、変動作用が強く働く特徴がある年で、不安定な精神状態になり易い。土地購入や新築、事業の独立、進出等の新たな思惑が生じる時期でもあるが、今年は控えめに保守、保全に務めることが将来の安定に繋がります。

○昭和三十一年生 六十三歳
星が中宮に入り、変化、変動作用が強く働く特徴がある年で、不安定な精神状態になり易い。土地購入や新築、事業の独立、進出等の新たな思惑が生じる時期でもあるが、今年は控えめに保守、保全に務めることが将来の安定に繋がります。

○昭和四十一年生 五十四歳
星が中宮に入り、変化、変動作用が強く働く特徴がある年で、自己過信や自意識が出来難くなり易い。自己過信や自己抑制が出来難くなり易い。土地購入や新築、事業の独立、進出等の新たな思惑が生じる時期でもあるが、今年は控えめに保守、保全に務めることが将来の安定に繋がります。

○昭和四十年生 五十四歳
星が中宮に入り、変化、変動作用が強く働く特徴がある年で、自己主張に固執しすぎて人や仕事を分離を招き易い悪化作用がありますので、自己管理をします。

○昭和四十九年生 四十五歳
現状維持に徹し、物事に不満、不足があつても、保守、保全にのみ努められれば、将来的運勢の安定度を決定する重要な分岐点になりますので、すべてに努力が必要です。

○昭和五十年生 三十六歳
女性は本厄です。厄除祈願をする面があるので、非難、不和が多い。病難の相もあるので、体調の自己管理も大切です。

○平成四年生 二十七歳
心身を保守保全に務めるなら、目上の引き立てもあり、富貴榮光の運があります。人によつては不和事を招いたりしますので、行き過ぎには注意が必要です。

○平成十三年生 十八歳
受けは本厄です。厄除祈願にて進行しない天恵薄年のです、すべ

○昭和三十一年生 六十四歳
八方塞がりの運が続いています。自分を傾けて努力する事が必要です。そのため物事に全力で取り組んで、自分の結果、目的が達成される年です。

○昭和三十九年生 五十五歳
八方塞がりから抜け出しますので、自分が友人との離反が起こりがちです。自己管理をしっかりとすること。

○昭和四十年生 五十六歳
経済的に繁栄があり、名譽も得られるが落とし穴があるのです。注意が必要です。

○昭和四十八年生 四十六歳
自己を犠牲にして物事に接したり、それが不和事や障害を招くことがあります。外的な辛苦が起ることになります。下手な行動は慎むべき。

○昭和五十七年生 三十七歳
諸事に努力を惜しまず歩めば、日上の引き立てがうまく、信用も得て、目的が達成される年。人によっては不和事が生じ困窮を招く恐れがあるので行き過ぎ、自惚れに注意。

○平成三年生 二十八歳
八方塞がりの運を引きつっていますので、天惠が薄く、病妻別離の兆候がありますので、諸事に平静不動が肝要な年です。

○平成十三年生 十九歳
女性は後厄です。厄除祈願を受ければ幸いです。知恵が聰明になりますので、文芸、学問、向上をみる年。自身の向上発展に努力すべき年です。

正の木祭冊子発刊によせて

太田町東部青遊会

三枝 修

輿に幕をおろすことになります。
した。

青遊会が始まったのは、昭和三十年代です。

太田町東部の青年を中心に正の木祭りに

協力したり、地区のソフトボ

ール大会に出場したり、会員

相互の親睦を深めることを目

的に始まりました。

現在の青遊会には、町内の

四十代からシニアまでの男衆

十八名が所属しています。そ

の中には、親から引き継いだ

メンバーもいます。

内容は、ボーリング大会、ゴルフコンペ、旅行等豊富になつてきました。

二十六年前にメンバーの中から、「自分達の子供らにも正の木祭りの思い出を残してあげたい。」という声が上がり、それまで途絶えていた子供神輿を復活させました。神輿や山車の飾り付けの花を作ったり、二日には、当日の準備をしたり、祭りが成功するよう祈願して前夜祭を行いました。



願いして、焼きそば、たこ焼き、フランクフルト、かき氷等を参加者にふるまいました。稲積神社からのパンも配りました。いろいろと大変なこともありましたが一致団結して、復活することができました。

私の息子達にも正の木祭りの子供神輿を体験することができて、とてもうれしかったです。

しかし、平成三十年五月三日をもつて、二十九年間実施してきた正の木祭りの子供神

の正の木祭りに関わることができたことを誇りに思っています。

神明奉仕を心に決めて

保田俊

二十九年間活動してきた記録として冊子ができると感大変うれしく思うと共に、感激深いものを感じます。

理由として、太田町東部には、小学生、中学生がいないことや今まで協力して頂いた一蓮寺幼稚園が平成三十年三月三十一日、閉園したことで

月三十一日、閉園したことす。

また、運営してきた青遊会のメンバーも高齢化し、今後の継続が難しくなってきたからです。

次の世代に、いつの日かこの行事を継承して頂くことを期待しています。

最後に、由緒ある稲積神社の正の木祭りに関わることができたことを誇りに思っています。



私は、神職資格取得以来、民間企業勤務の間、助勤として神社の忙しいお正月や正ノ木祭の時期だけのお手伝いで木祭の時期だけのお手伝いで神輿を復活させました。それまでの私は企業業務での荒れた心を、神様のお傍近くでの御奉仕で、自身の心を正中に戻すべく為の御奉

仕だったと思います。そんな中、定年退職も近くなり先の事を考えた時、何か心の中に「ボッカリ」空いている部分があり根津宮司にお話したところ、「神社業務が忙しく、人手も足りないので是非手伝つてほしい」とのお言葉を頂



き今年の四月からお世話をなる事を決めてから、心の隙間に埋まつたように思えました。日々の行事や作業を初心に返つて熟すなかで大きく変わってきたのは御祈願に来られる方や外祭での施主様への思いでした。折に触れ宮司とお話ををするなかで、「御祈願でも外祭でも心を込めて全力で」や、「その方等にも喜んでもらえる、安心してもらえる」等のお話を聞き自身もその気持ちを持つて御祭をしていくうちに「お祓いを受けて良かった」や「心が落ち着いた」等のお声を頂いて、神と人との中執持の神職として目指すものが見えてきた様に思えました。皆様に安心してもらえる神職として行学一致を心に神明奉仕に邁進したいと思ひます。

平成31年 戊(いぬ)の日カレンダー

1月	1日(火)	赤口	13日(日)	先勝	25日(金)	先勝
2月	6日(水)	友引	18日(月)	友引		
3月	2日(土)	友引	14日(木)	先負	26日(火)	先負
4月	7日(日)	大安	19日(金)	大安		
5月	1日(水)	大安	13日(月)	友引	25日(土)	赤口
6月	6日(木)	友引	18日(火)	友引	30日(日)	友引
7月	12日(金)	先負	24日(水)	先負		
8月	5日(月)	大安	17日(土)	大安	29日(木)	大安
9月	10日(火)	先勝	22日(日)	先勝		
10月	4日(金)	友引	16日(水)	友引	28日(月)	仏滅
11月	9日(土)	仏滅	21日(木)	仏滅		
12月	3日(火)	大安	15日(日)	大安	27日(金)	先勝

新年祈願ご案内
安産祈願の由来

平成三十一年己亥年を迎え、新年祈願祭を斎行しております。家内安全・商売繁昌・厄除・合格祈願等隨時行つております。

初穂料 五千円以上

新年祈願ご案内

平成三十一年厄年表(数え年)
星除祈願

数え年とは、満年令には誕生日以前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。
運勢学で見る厄年の大厄は衰退期の衰退運に回座する年を言います。
男性は昭和五十三年生、女性は昭和六十二年生の方です。男性の昭和三十四年生、平成七年生では生氣興隆の女性の昭和五十八年生・平成十三年生は八方ふさがりの注意の厄です。三十歳以上の方は厄除祈願をお受け下さい。

大厄は三十三歳	36歳 昭和 59年生	32歳 昭和 63年生	18歳 平成 14年生	前 厄	女 の 厄 年	大厄は四十二歳	60歳 昭和 35年生	41歳 昭和 54年生	24歳 平成 8年生	前 厄	男 の 厄 年	
	37歳 昭和 58年生	33歳 昭和 62年生	19歳 平成 13年生	本 厄	61歳 昭和 34年生		42歳 昭和 53年生	25歳 平成 7年生	本 厄	62歳 昭和 33年生	43歳 昭和 52年生	26歳 平成 6年生
	38歳 昭和 57年生	34歳 昭和 61年生	20歳 平成 12年生	後 厄								

平成三十年奉納者

一金百萬円

(株)マルニ

樋口育生様

平成三十一年一月下旬
竣工予定

◎築六十五年経過した宮司室兼
ねた接客室の建替工事

建替工事施工者の有エル工
フハウジング丹沢孝雄様より
百萬円の献納を賜りました。



◎老朽化した祭器庫の建替工事
天皇陛下御即位三十年
奉祝記念事業の報告

惠方参りのご案内

祭典行事暦
(一月～四月)

御代替りを控え
皇室ゆかりの地を訪れる旅
・武藏陵墓地参拝

・三千年の古社・筑波山神社
正式参拝

平成三十一年三月三日(日)
～四日(月)一泊二日

会費二六〇〇円

期日

始祭 每月一日十時

一月一日歳旦祭

十五日神恩感謝祭

三日月次祭・元始祭

月始祭

随时新年初年祈願祭

平成三十年度崇敬会大祭並根津宮司特級昇進祝う会

本年度の崇敬会大祭は残暑厳しい九月一日に斎行されました。又、根津宮司が神職身分特級に昇進されましたので、同時に「お祝の会」が開催されました。

まず、神殿にて崇敬会大祭を執り行い、その後参集殿にて懇親会とお祝の会に移りました。小尾絵代様、羽中田山山梨県護国神社宮司様に挨拶を頂き、続いて「神職身分について」と題し、山梨県神社庁参事飯田酒折宮宮様に神職の袴の色や紋、神職特有的身分についてのご講話を頂きました。

最後に、丹澤絵代様より感極まる締めのご挨拶をいただき、「崇敬会大祭」、「お祝の会」を和やかのなか閉じました。

開催された 「稻積神社根津泰昇宮司 神職身分特級昇進を祝う会」

れ茨城県神社庁長嶋東男様のご挨拶。次に、神社本庁総長田中恆清様、神宮少宮司亀田幸弘様、山梨県知事後藤斎様、美しい日本の憲法をつくる山梨県民の会会長横内正明様よりご挨拶を頂戴いました。その後、根津宮司より謝辞を申し上げ、甲府商工会議所会頭、稻積神社名誉総代の金丸康信様の乾杯のご発声により祝宴が始まりました。

精興は「やまなし大使」に任命され、イルカさんの御子息の神部冬馬様の歌で癒やされ、正ノ木祭でおなじみの甲府囃子様の甲府市無形文化財に指定されているお囃子で盛り上りました。宴だけなわの中、閉会の辭を山梨県神社庁副庁長小佐野正史様が申し上げ、会がお開きとなりました。

遠方よりお越しくださいました県外神職様を始め、秋祭でお忙しい中駆けつけてくださった県内神職の皆様、日頃お世話になつております崇敬者各位、そして早朝よりセッティングからお客様のお見送りまでご協力いたいたい稻積神社外郭団体の皆様、誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

山梨県甲府市太田町
稻積神社宮司根津泰昇

神職身分特級とする
平成三十一年十月三日



規程表彰第二条第二号の功労碑



祝 宴



鏡開き